

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年4月5日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670105081
法人名	医療法人 尚文会
事業所名	グループホーム 竹山苑
所在地	鹿児島県鹿児島市郡山町2570番地1 (電話) 099-298-2161
自己評価作成日	平成28年2月25日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成28年3月18日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

山や田んぼに囲まれた自然いっぱいのところ竹山苑はあります。天気の良い日には中庭や玄関先に出て日光浴をしたり、近くの池までお弁当持って出かけたりしています。

利用者同士の交流を深めながら一人ひとりの生活スタイルで安心して暮らしていただけるようお手伝いさせていただいています。又、夏祭りや児童館交流・敬老会など地域や家族との繋がりを大切にしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当ホームは遠望の山並みが美しく、天気の良い日は戸外でお茶を飲みながら談話をしたり、周辺を散歩して自然を楽しんでいる。
- ・自治会に加入し、ホームの敬老会には地域の方を招待したり、保育園児との交流や中学生の体験学習を受け入れ、育てた花をいただいたりしている。消防訓練の時等、地域や敬老会の協力があり日常的に交流している。
- ・毎月発行の竹山苑便りは、入居者や家族・地域住民にも親しまれ、グループホームの存在や入居者の元気な様子がうかがえている。
- ・年2回消防署指導のもと、昼夜想定避難訓練を実施している。スプリンクラーや緊急通報装置が設置され、消火器・火災報知器・避難経路の点検を行い、防災設備も整っている。町内放送があり、地域住民との協力体制もできている。
- ・職員間のコミュニケーションが良く入居者に質の高いケアを支援するため自己研鑽に励んでいる。笑顔で支援し入居者から笑顔ももらっている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝、職員は理念の唱和を行い同じ目的意識を持って実践に、繋げている。	職員で話し合い、見直した独自の理念である。毎朝、ミーティングで唱和し、職員会議で振り返りや確認しながら支援している。職員は理念にそった個人の目標を掲げ年3回は管理者と面談し実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	事業所は自治会に加入している。地域の一員として様々な場面でお互いに交流する機会を設けている。	自治会に加入し、ホームだよりを回覧板にお願いしている。ホームの敬老会には地域の方を招待したり、保育園児との交流や中学生の体験学習も受け入れ、育てた花をいただいたりしている。消防訓練の時等、地域や敬老会の協力があり日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	職員は、研修や実践などで得た知識を運営推進会議や中学生職場体験などで認知症の人の理解や支援の方法を伝えている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議（自治会長・民生委員・家族代表・行政）を定期的開催し苑の活動報告・計画などを伝え、意見交換を行いサービス向上に活かしている。</p>	<p>会議は定期的開催され、事業所の運営報告や利用者の状況・外部評価の報告などを行い、意見交換をしている。災害時の防災無線の必要性の助言で、市に手配したり、参加家族から「会議を通して他の家族と交流ができた」と喜ばれたり、サービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>市町村担当者や地域包括センター職員と情報交換を行いながら協力関係を築くように努めている。</p>	<p>市の担当者とは、日頃から相談や報告・情報を交換して助言を貰っている。市の相談員も受けており、市主催の研修会にも積極的に参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>出来る限り身体的拘束をしないよう支援している。やむ得ない場合はケース検討会を開催し、家族や本人に了解を得て期間を決めて行うようにしている。</p>	<p>身体拘束廃止委員会があり、マニュアルをもとに事例や課題に基づいて定期的に勉強会を行っている。拘束の具体的な行為を職員は理解している。言葉による場合も含め拘束をしないケアに取り組んでいる。日中は玄関の施錠をせずに職員間の連携で安全な暮らしを支援している。地域住民の見守りも連携がとれている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員は、高齢者虐待防止関連法について学び、日々の介護の中でお互いに声をかけをし合い、防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利擁護に関する研修への参加や自施設での勉強会で学ぶ機会がある。制度を理解し利用者を守るよう支援している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時、事業所の思いや取り組みを理念を通して説明している。重症化により起こりうる様々なリスク及び緊急時の対応について、医療連携体制について説明し同意を得ている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族の面会時、日々の生活の様子をお話しするようにしている。その際、要望などないかお聞きするようにしている。管理者・職員は利用者との関わりの中で聞く機会を設けている。	利用者からは散歩の時や日々の関わりの中での言動から、意見や要望を聞き、思いを把握している。家族からは面会や電話・行事を兼ねた家族会・年1回のアンケート等から思いを聞いている。居室に加湿器を設置したり、道路の改善や受診支援等を話し合い、運営に反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	代表者と管理者は随時、報告や相談を行う機会がある。定期の運営会議の中で話し合いを行っている。職員はカンファレンス等で意見交換をし日々コミュニケーションを図っている。	管理者は日頃から職員とのコミュニケーションをとり、話しやすい環境をつくっている。代表者や管理者は相談事を個別に聞き適切にアドバイスをしている。ユニット会議や職員会議等で職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映を図るよう心がけている。ケアや運営についての意見が多い。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	代表者は様々な場面で事業所に足を運んでいる。職員のやる気に繋がる声かけを行っている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業所内外の研修やセミナーに参加するようにしている。事業所内研修は月1回、各フロアにておこなっており、職員が勉強したい・学びたい事を決めて実施している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修や勉強会に参加することで、同業者と交流する機会が増えている。情報交換などおこない他施設の良いところを取り入れサービスの質の向上に役立っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者が話しやすい雰囲気作りや話を聞く姿勢を大切にしている。言葉だけでなく行動からのサインを見過ごさないよう気を付け、信頼関係を築けるよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の思いを受け止めながら家族と事業所は利用者を一緒に支えていく関係でありたいと伝えている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者や家族の希望を含め利用者にとって必要なサービスかを見極め対応している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者は人生の大先輩として敬う事が大切であると考えている。暮らしの中にも様々な知恵があり、教えていただく事も沢山ある。尊敬の念を持って接するよう心がけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>毎月のお手紙では、利用者の暮らしぶりや健康状態、本人の一言などお知らせしている。こまめに報告や相談等をおこない、家族との連携を密に取り、安心していただけるよう努めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>利用者の家族・親戚・知人等、いつでも面会に来られる環境にあり、これまでの関係性が続くように支援している。地域の行事参加で馴染みの方々と触れ合う機会がある。</p>	<p>地域の行事や文化祭の時など、馴染みの方とのふれ合いがあり、手紙や電話の取次ぎなども行っている。家族や親戚・知人・地域の方等の訪問を奨励し、お茶を出すなどして継続的關係が途切れないよう働きかけている。家族の協力で自宅訪問や外食・墓参などの支援をしている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>日常生活の中で利用者の状況観察をおこない、孤立することがないように必要に応じて職員が利用者間の調整役となり支援している。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>サービス利用が、終了された方の家族が面会に来て下さり、利用者や職員と会話をされる。それまでの関係性の継続がある。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人や家族からどのような暮らしを望んでいらっしゃるのか希望を聞くようにし今後のサービスに活かせるようにしている。	日々の様子を観察し、言葉や表情・しぐさなどから思いや意向の把握に努めている。職員も気づきを記録している。意思疎通が困難な場合は本人を知る関係者や家族から聴き、利用者の視点に立って職員間で話し合い、本人中心に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前の情報提供書や本人や家族との会話の中から情報を得ている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	コミュニケーションを取りながら心身状態を観察しバイタルチェック表や介護記録で現状を把握している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族の要望、カンファレンスで議題について話し合い、ケアプランに活かしている状態変化のあった時はその都度、検討している。	本人や家族の意向を確認し、主治医の意見を参考に担当者会議で話し合い、個々に応じた介護計画を作成している。3ヶ月ごとにモニタリングを実施し、必要に応じて見直しをしている。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>ケアプランに沿った記録を心がけている。申し送り事項は、業務日誌でおこなうようにしており情報を共有している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>状況に応じ必要なサービスを検討し支援している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>病院・ドラッグストア・移動美容室など、本人の希望・要望に応じ、利用できる環境をつくり支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人が受診していた医療機関を継続できるようにしている。それ以外の方は苑の協力病院で、診て頂いている。</p>	<p>本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。歯科医は治療の内容により同行支援している。他の医療機関の受診は、家族の協力をもらいながら支援している。訪問診療は月1～2回受けている。緊急時の対応などは連携を取りながら適切な医療が受けられるよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日々の関わりの中でとれた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>体調変化時は、早期に受診や訪問診療に繋げている。適切な治療ができるよう医師や看護師に情報提供をおこなっている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時サマリー等で情報交換を行い経過観察や治療ができるよう対応している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>本人や家族と終末期について話し合う機会がある。要望を叶えるためチーム全体でカンファレンスを重ね、支援に取り組んでいる。</p>	<p>入居時に重度化や終末期に伴う対応の指針を説明し、同意書を貰っている。状況変化に伴い本人や家族の意向を確認しながら、家族と方向性を共有できるよう取り組んでいる。職員ともカンファレンスを重ね、事業所でできることを説明して支援に取り組んでいる。看取りの事例もある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>研修や勉強会で応急手当などを学んでいる。マニュアルを作成し実践に繋げている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>マニュアルを作成し避難訓練をおこなっている。地域の避難訓練に参加しており、協力体制はできている。</p>	<p>年2回消防署立会いのもと、昼夜想定避難訓練を実施している。スプリンクラーや緊急通報装置も設置され、消火器・火災報知器・避難経路の点検を行い、簡易トイレ等の防災設備も整っている。町内放送があり、地域住民との協力体制もできている。災害時の水や米・乾パン・毛布・レトルト食品等の備蓄がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員は一人ひとりの生活歴を把握し、その方の人格を尊重しながら誇りやプライバシーの確保に努め、声かけに気を付けて対応している。	利用者の尊厳とプライバシーを損ねない言葉かけや対応に留意している。マニュアルを作成して勉強会を行い、職員の資質向上に取り組んでいる。名前の呼び方やトイレ誘導・入浴介助時の言葉かけ等に配慮し気配りしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々、コミュニケーションを取りながら希望や思いを伝えることが出来るように信頼関係を築き利用者が自ら自己決定できるように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	趣味を取り入れたレクリエーションを計画し、一人ひとりの体調・ペースに合わせて活動、生活できるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	本人の希望を聞きながら、着替えの支援をしている。行事などある時は、前の日から好みの服を選んでもらってオシャレを楽しんでもらっている。3ヶ月に一度、移動美容室にてカットや染などを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>嗜好調査を行い、誕生日は好きな物を取り入れた献立を立て、召し上がって頂いている。食事を通して季節を感じてもらうための献立を支援している。片付けなどできる所はやっている。</p>	<p>個々の好みを把握し旬の食材で利用者の嗜好に配慮した献立や食事形態を工夫している。誕生日には好きなものを提供している。行事食や手作り弁当など食事が楽しみなものになるよう工夫している。家族からも野菜や果物・豆腐等の差し入れがある。敬老会には家族を招待して手作りでの会食をしている。利用者の力量に応じて準備や下ごしらえ・後片づけ等を職員と一緒にやっている。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>一人ひとりに合わせた食事形態で食事を提供している。食事量・水分量を把握し食事、水分摂取が困難な方は経口補水やとろみ調整食品を使用し対応している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後・おやつ後は口腔ケアの声かけをし、その方に応じたケアに努め、支援している。義歯は毎日消毒を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を用いて、排泄の時間や習慣を把握し、声かけをしながらトイレ誘導し、自立に向けた支援を行っている。	排泄パターンや習慣を把握し、声かけ等を行いトイレでの排泄を大切にしている。昼間はおむつを減らす取り組みをしている。食事にも気を配り、水分補給や野菜・ヨーグルトを使ったりして、排便にも気をつけている。夜間のみおむつ使用やポータブルトイレ使用で負担のないように配慮している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事を中心に、食物繊維を多く含まれる食材を使用し、手作りヨーグルトをメニューに取り入れ自然排便を促すように支援している。			
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日を設定しているも、本人の意志を尊重しながら1対1の対応で入浴して頂いている。入浴時は昔話や会話を楽しんで頂いている。入浴されない方は陰部洗浄を実施している。	入浴は週に2回を目安にしているが、個々人の体調や希望に添った入浴ができるように対応している。個浴で会話を楽しみながら入浴している。シャワー浴や陰部洗浄を随時実施している。脱衣所は保温の配慮があり温度差がないようにしている。清拭後のタオルの処置は業者に依頼している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりのペースに合わせて休んで頂いたり、時には身体を動かして頂き、気持ちよく安心して眠れるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の使用目的・副作用について全職員が把握し、薬の変更があった場合は業務日誌・ボードなどで確実に申し送る。服用後の体調変化に気付くように努める。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの生活してこられた日々を尊重し今できる事を探してさしあげ、施設での役割がある事を感じてもらおう。ドライブ・散歩・苑外でも食事などで気分転換をして頂いている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	日々の生活の中で何を望んでいらっしゃるかを把握し、希望に沿った外出支援が出来るように努めている。家族にも支援を頂きながらお墓参りや外出が出来るようにしている。	日常的に天気のいい日は周辺を散歩したり、敷地内の戸外でお茶会やそうめん流しをして楽しんでいる。年間行事計画を立てて初詣や紫陽花・コスモスの花見等に出かけている。家族の協力で、墓参などの外出や外食等の支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>施設でのお金の所持は行っていないが、外出した時は好きな物を買って頂いて、立替え払いの支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>利用者のご希望があれば施設からお話ししたい方への電話の支援を行っている。手紙の書ける方は、手紙のやり取りが出来るように支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用の空間はどこに何があるか、混乱しないようにネームプレートなどで工夫している。フロア内には行事で写した写真や季節を取り入れた装飾をし、居心地の良い空間づくりに努めている。玄関・フロア内に季節を感じてもらえる草花を飾っている。</p>	<p>玄関入り口に季節の花が飾ってあり、フロアは天井が高く明るく広々としている。採光や換気・温度・湿度に配慮し清潔である。行事ごとの写真や季節感を大事にした飾りつけがされている。中庭の開放感があり、居心地よく過ごせるような工夫がされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>日々の生活の中で、利用者同士の関係性を把握し、席の配置を考慮している。フロアにソファを置き、ゆっくりくつろいで頂けるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、馴染みの物を持って来て頂き塗り絵や自作カレンダー・家族との写真など壁やテーブルなどに飾り、今までと変わらず安心してゆっくり休んで頂けるように支援している。</p>	<p>居室はベッドとクローゼットが備え付けである。寝具や家具・テレビ・家族写真・自作のカレンダー等が飾っており、使い慣れた物や家族の思いが伝わるものが持ち込まれ、安心して過ごせるよう配慮されている。入り口には好みの暖簾がかけられ、居心地よく過ごせるよう工夫がされている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>建物内は動線を考え場所の表記をしっかりと、利用者が安心・安全に生活できるように環境づくりに努めている。手すりを使っての歩行の安全・障害物を取り除く配慮をしている。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない